

進化 ← 長崎!!

新しい市役所とまちづくり

市庁舎の建替えは、防災や将来にわたるまちづくりを考える上でとても重要な課題であることから、市議会や市民のみなさんのご意見をいただきながら、議論を重ねるとともに、市民の利便性・事業期間・コストなどを多面的に評価・検討してきました。

市の方針については、これまでも広報ながさきやテレビ、ホームページなどを通じてお伝えしてきましたが、あらためて「市庁舎建替え」の検討の経緯や考え方についてお知らせします。

新しい市庁舎の目指す姿

市庁舎は市民の財産であり、「まちのシンボル」として末永く市民に愛されるものでなければなりません。

市では、「長崎市新庁舎建設基本計画」を策定し、その中で、新しい市庁舎について次のような姿を目指しています。

- (1) 市民に親しまれ、つながりの拠点となる
- (2) まちの活性化に貢献する
- (3) 人と環境にやさしい
- (4) 市民の安全・安心な暮らしを支える
- (5) 市民へ円滑なサービスを提供し、効率的な事務を行う など

【問い合わせ】 大型事業推進室 ☎ 829・1411

現在の市庁舎は、市制 70 周年の年、昭和 34 (1959) 年 4 月に落成し、建設から 57 年を経過しています。

特集

市政

長崎市民

「ご意見」
プレゼント

生活情報

子育て

健康

福祉

被爆者援護

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

市庁舎の建替え場所とまちづくり



- 市では、陸の玄関口である「長崎駅周辺」、海の玄関口である「水辺の地区」、歴史的な文化や伝統に培われてきた長崎の中心部である、新大工町から中通りを経て南山手に至る「まちなか地区」という、3つの拠点の連携を図ることを基本にまちづくりを進めています。
- 現在の市庁舎がある場所から公会堂を含むエリアは、これらの拠点を結びつける重要な位置にあります。
- また、市役所には、多くの市民のみなさんが訪れる集客施設という側面があることから、このエリアに市役所を置くことで、3つの拠点のつながりが“線から面”に広がり、都心部全体に人が回遊することで、中心市街地をより活性化できると考えています。

Q. 中心市街地の活性化のほかにこのエリアの利点は？

① 新たに土地を取得しなくてよい

まとまった規模の市有地が集まっており、新たに土地を取得する必要がありません。

② 交通の利便性が高い

バスや電車など交通の利便性が高いエリアです。



市トクながさき(長崎ケーブルメディア)で、田上市長が「新しい市役所とまちづくり」について紹介しました。市公式YouTubeで動画配信中です！

市庁舎建替えの検討の経緯と方針

特集

市政

長崎市民

「ご意見」
プレゼント

生活情報

子育て

健康

福祉

被爆者援護

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

平成26年2月

平成25年1月

平成23年2月

平成21年度

平成7年度

平成4年3月

昭和34年

「長崎市新庁舎建設基本計画」を策定

新庁舎の基本計画策定まで

市民会議
(平成25年5月～平成25年11月)
市民アイデア募集 (平成25年7月)
パブリック・コメント (平成25年12月)
市庁舎・支所機能再編検討特別委員会 (平成25年度)

建替え場所を「公会堂及び公会堂前公園敷地」に決定

建替え場所の決定まで

市民懇話会
(平成23年8月～平成24年3月)
市民アンケート (平成23年8月)
市議会市庁舎建設特別委員会
(平成23～24年度)

「建て替える」ことを耐震化の方針とすることを決定
建替えを検討するエリアを「現在の市庁舎がある場所から公会堂を含む一帯」とすることを決定

耐震診断の結果、大規模な地震に耐える十分な強度がないことがわかる

市議会に「市庁舎・病院建設特別委員会」

「市庁舎建設整備基金」を設置

現在の市庁舎（本館・議会棟）が完成

市庁舎の建替え場所を、「公会堂及び公会堂前公園敷地」と決定しています（平成25年1月）。

これは、「市民の利便性の向上」「事業期間」「コスト」「まちなかのにぎわい」などを検討した結果、もっとも効率的かつ効果的な建替えが可能と考えたからです。

Q. 旧公会堂の場所とした具体的な理由は？

①より良いサービスを提供できる

現在地での建替えに比べると施設計画に制約が少なく、一棟にまとまることでより良いサービスが提供できます。

②防災拠点としての庁舎を早く建設できる

現在地での建替えの場合は仮庁舎が必要で工期が長くなりますが、この場所での建設だと仮庁舎が不要で、安全性も確保した庁舎の建設が早期に実現できるためです。

③コスト的に有利

仮庁舎が不要で工期も短い分、現在地での建替えと比べて、コスト的にも有利です。

④市役所とまちなか双方のにぎわい

まちなかに一歩近づくことで、まちなか・市庁舎双方の交流とにぎわいが期待できます。